

地域×スポーツクラブ産業研究会 第3回

2020年11月26日
コナミスポーツ株式会社

目次

1. 公共施設の管理運営に関する事例紹介

- 公共施設の管理・運営に係る自治体ニーズには、地域によってどのような差異があるか、民間が運営に入ることによって図られる効率化や、便益とは具体的にどういった部分か

2. コナミスポーツにおける研修プログラム、資格認定制度

- スポーツクラブ運営における人材教育や資格の在り方について、必須とすべき教育内容や資質はあるか

3. 地域スポーツクラブ事業化検討にあたっての課題認識

- (部活動を補完・代替する) 地域スポーツクラブにフィットネス産業が参入する場合に、ビジネスフィールドとしてどのような部分に課題があるか

目次

1. 公共施設の管理運営に関する事例紹介

- 公共施設の管理・運営に係る自治体ニーズには、地域によってどのような差異があるか、民間が運営に入ることによって図られる効率化や、便益とは具体的にどのような部分か

2. コナミスポーツにおける研修プログラム、資格認定制度

- スポーツクラブ運営における人材教育や資格の在り方について、必須とすべき教育内容や資質はあるか

3. 地域スポーツクラブ事業化検討にあたっての課題認識

- (部活動を補完・代替する) 地域スポーツクラブにフィットネス産業が参入する場合に、ビジネスフィールドとしてどのような部分に課題があるか

事例①

ヴィスポことひら（琴平町）



基本情報

- 総合型地域スポーツクラブヴィスポことひら
- 住所 香川県仲多度郡琴平町
- 営業時間 9:00～22:00
- 定休日 月曜日

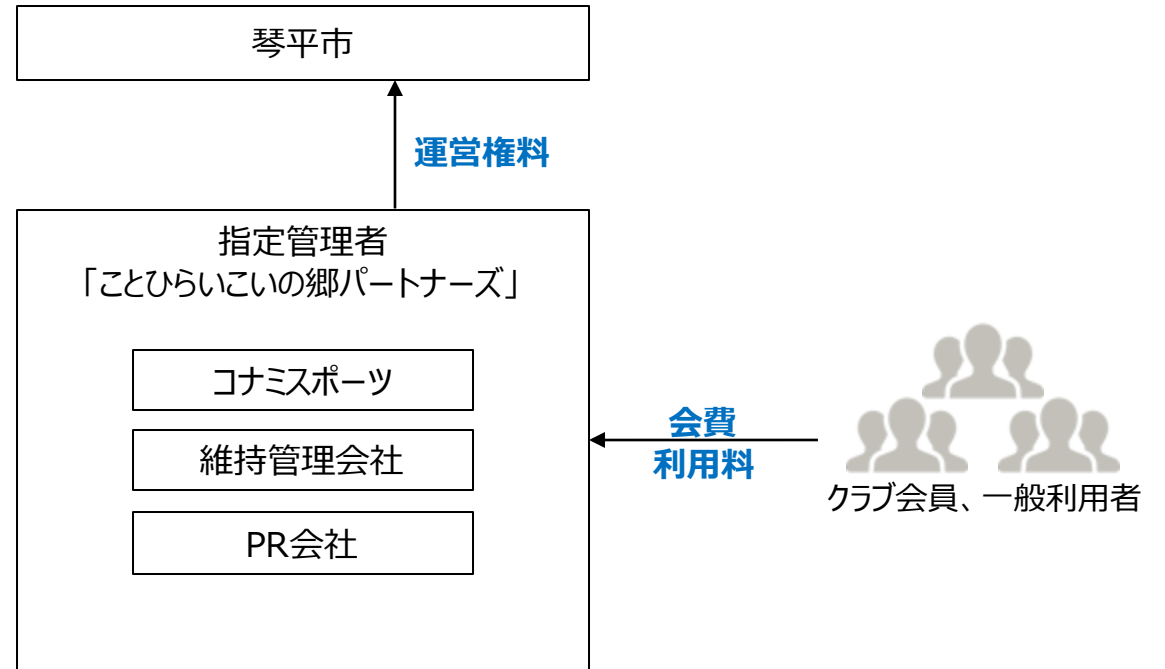
概要

- 体育館・屋外グラウンド等を指定管理者として管理運営するほか、**指定管理者自身が、総合型地域スポーツクラブ「ヴィスポことひら」の運営**を担う
- 施設の運営以外に、介護予防、小学校の水泳指導、高校部活指導、地元宿泊施設と連携した地域外からの合宿誘致など、幅広い事業を展開
- 町内900名(町民6.3%)のクラブ参加率を誇り、地域交流の場として寄与

自治体側のニーズ

- 住民福祉向上、スポーツ振興、地域交流等を促進できる場の提供
- 民間企業の高いサービスレベルと、安定的な総合型地域スポーツクラブ運営
- 民間ノウハウを活かした効率的な運営で、町の財政への貢献

運営スキーム：指定管理者 ※事実上のコンセッション



コナミスポーツ参画による提供価値

- 民間スポーツクラブと同等のサービスレベル
- 施設運営と総合型地域スポーツクラブ運営の両立
- 会費制度の導入による安定収入の確保
- 研修プログラムの提供、地域の指導者育成

事例②

たつのこアリーナ（龍ヶ崎市）



基本情報

- 龍ヶ崎市総合体育館「たつのこアリーナ」
- 住所 茨城県龍ヶ崎市中里
- 営業時間 9:00～22:00
- 定休日 月曜日

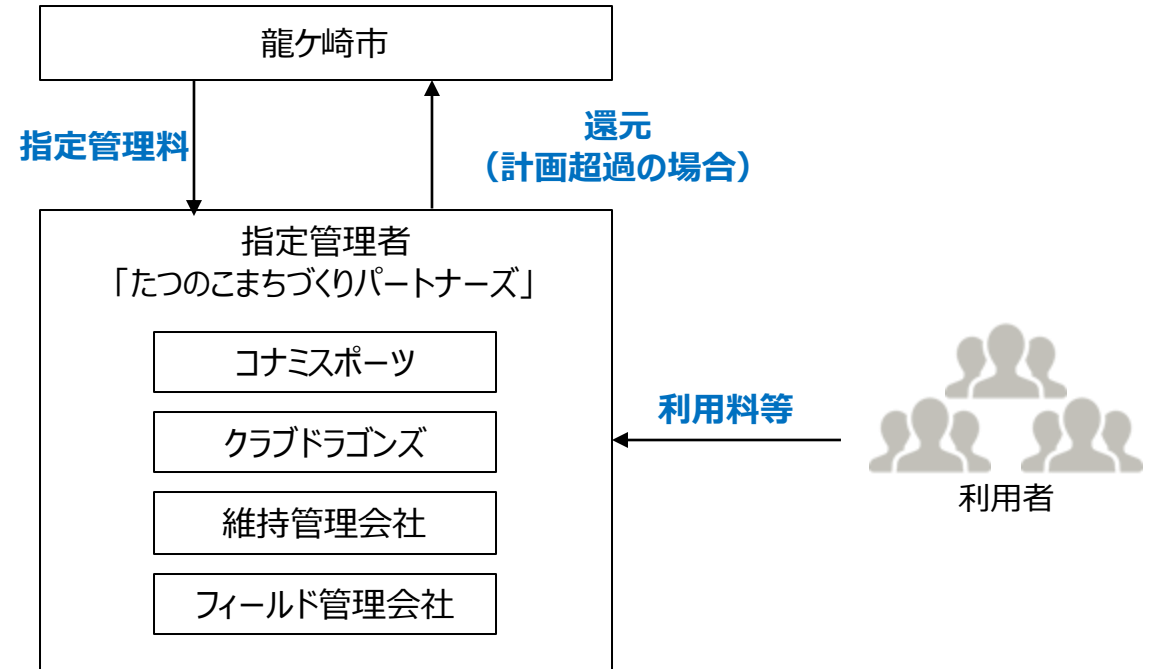
概要

- 体育施設の管理運営に、市内の流通経済大学を母体とする**総合型地域スポーツクラブ「クラブドラゴンズ」**が**指定管理者の構成企業として参画**
- 従前、大学内で実施していた同大学のスポーツ教室を、本施設において活動の場を拡大し広報協力することで、クラブ会員を増加
- スポーツ教室の他、屋外施設管理等の業務を拡大し、安定収益の確保

自治体側のニーズ

- 市のスポーツ中核施設として、市民のスポーツ振興を期待
- 流通経済大学とは、「龍・流連携」を締結し、数多くの連携事業を実施
- 本施設における「市民のスポーツ振興」と「流通経済大学との連携」の両立に高い評価

運営スキーム



コナミスポーツ参画による提供価値

- 民間ノウハウを活かしたオリジナルプログラム等のサービス提供
- 地元の総合型地域スポーツクラブの活動の場の提供、広報の協力
- 管理業務の分担による収益源の提供、クラブ育成に貢献

事例③

ウェルストーク豊岡（豊岡市）



基本情報

- 豊岡市立総合健康ゾーン健康増進施設「ウェルストーク豊岡」
- 住所 兵庫県豊岡市立野町
- 営業時間 9:00～22:00
- 定休日 木曜日
- 豊岡市人口 約8万人

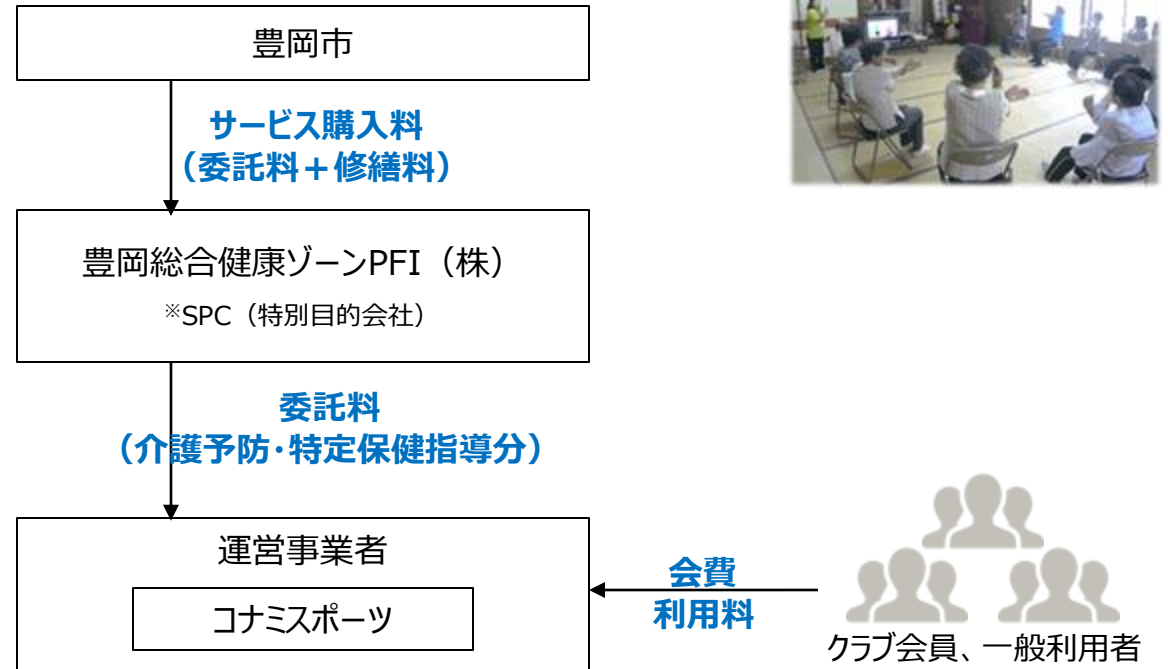
概要

- 独立採算のPFI事業として、2010年より運営を開始したが、付帯事業として「特定保健指導事業」「介護予防事業」を受託
- 医療費・介護費の抑制、「健康長寿のまちづくり」を実現すべく、豊岡市とタッグを組んで事業展開
- 市民の生涯を通じた健康づくりを支援するための中核的拠点施設として、全ての市民の健康でいきいきとした暮らしの実現
- 公民館、集会所等、**山間部含めた市内全域で訪問サービスを提供**

自治体側のニーズ

- 高齢化率32.5%と全国平均の28.4%を大きく上回り、2040年には、42%になると推計、利用者が200万人達成。健康長寿のまちづくりに貢献
- 健康維持増進・認知症予防等幅広い運動指導の評価
- 【運動からだ元気塾】体力測定結果（約6割の方が維持・改善）

運営スキーム



コナミスポーツ参画による提供価値

- 当社所属の、民間事業者1社による市内全域をカバー生活・運動指導
 - 管理栄養士・保健師・健康運動指導士らによる 「特定保健指導」
 - 理学療法士が山間部を巡回して指導する 「運動からだ元気塾」
 - 理学療法士による介護予防事業 「はつらつチャレンジ塾」
 - プレレイルの可能性のある低体重者の方向け 「生活指導・運動指導」

受託を回避する主な理由

コナミスポーツでは、長年に渡り、受託ビジネスを行っており、年々、受託件数は増加しており、2020年9月30日時点207施設を受託しているが、応募することなく受託を回避しているケースもある。受託を回避する主な理由は以下。

委託料の少なさ

- 事業収支が成り立たないレベルでの委託料を前提とした募集のケースがある

人材要件のバラつき

- 健康運動指導士、管理栄養士等、特定の資格人材の設置を求められる
- 自治体によって要件が異なる

地理的要件による制約

- 各種要件をクリアしている場合でも、本社が当該地域にないことが理由で、応募できないケースが散見される

目次

1. 公共施設の管理運営に関する事例紹介

- 公共施設の管理・運営に係る自治体ニーズには、地域によってどのような差異があるか、民間が運営に入ることによって図られる効率化や、便益とは具体的にどのような部分か

2. コナミスポーツにおける研修プログラム、資格認定制度

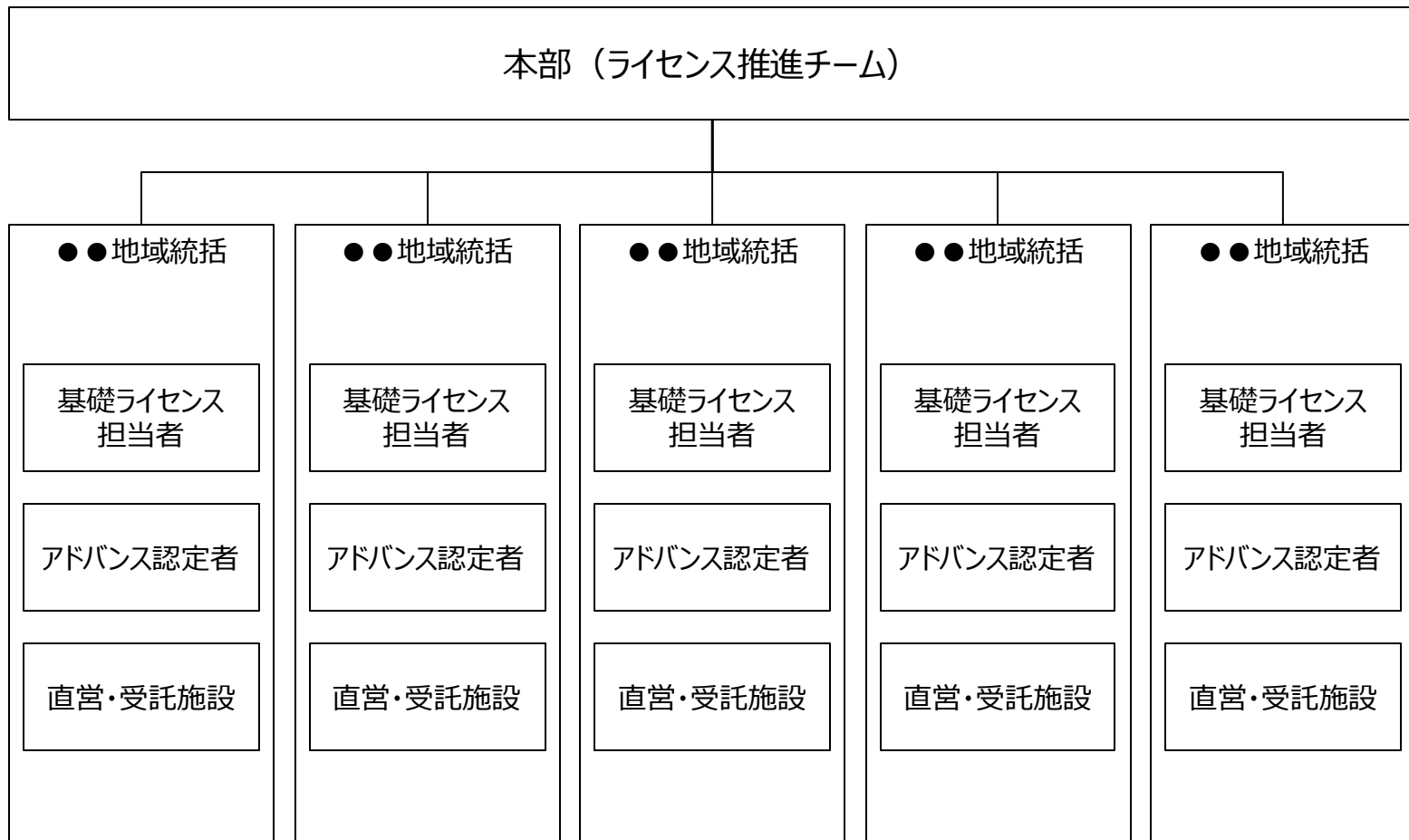
- スポーツクラブ運営における人材教育や資格の在り方について、必須とすべき教育内容や資質はあるか

3. 地域スポーツクラブ事業化検討にあたっての課題認識

- (部活動を補完・代替する) 地域スポーツクラブにフィットネス産業が参入する場合に、ビジネスフィールドとしてどのような部分に課題があるか

コナミスポーツにおける組織的な人材育成体制

当社ではスタッフのスキルアップを促進させるために施設を横断した全社的な人材育成体制を構築すると共に、人材育成のノウハウを共有し効果的な育成につなげている。



本部

- ✓ 基礎ライセンス教育ツール・評価基準の改訂
- ✓ アドバンス向けスキル勉強会の企画
- ✓ アドバンス認定者の育成

地域統括

- ✓ アドバンス認定会の運営
- ✓ 各種勉強会の運営

各施設

- ✓ 教育研修の情報共有の場づくり
- ✓ 研修実施のコントロール
- ✓ スタートアップ研修
- ✓ ベーシック教育研修

目次

1. 公共施設の管理運営に関する事例紹介

- 公共施設の管理・運営に係る自治体ニーズには、地域によってどのような差異があるか、民間が運営に入ることによって図られる効率化や、便益とは具体的にどのような部分か

2. コナミスポーツにおける研修プログラム、資格認定制度

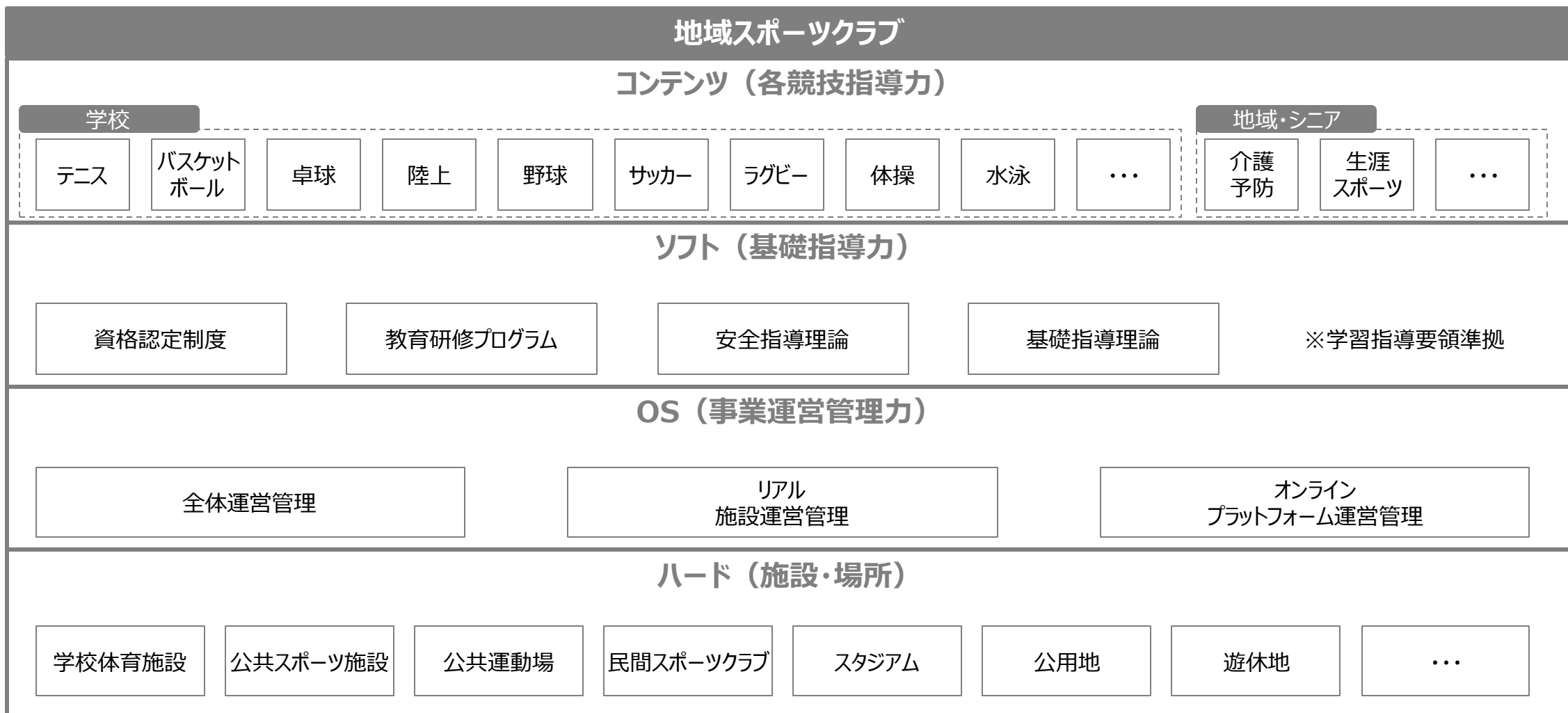
- スポーツクラブ運営における人材教育や資格の在り方について、必須とすべき教育内容や資質はあるか

3. 地域スポーツクラブ事業化検討にあたっての課題認識

- (部活動を補完・代替する) 地域スポーツクラブにフィットネス産業が参入する場合に、ビジネスフィールドとしてどのような部分に課題があるか

本研究会「目指す姿・論点」に対する初期仮説 (前回資料再掲・一部加筆)

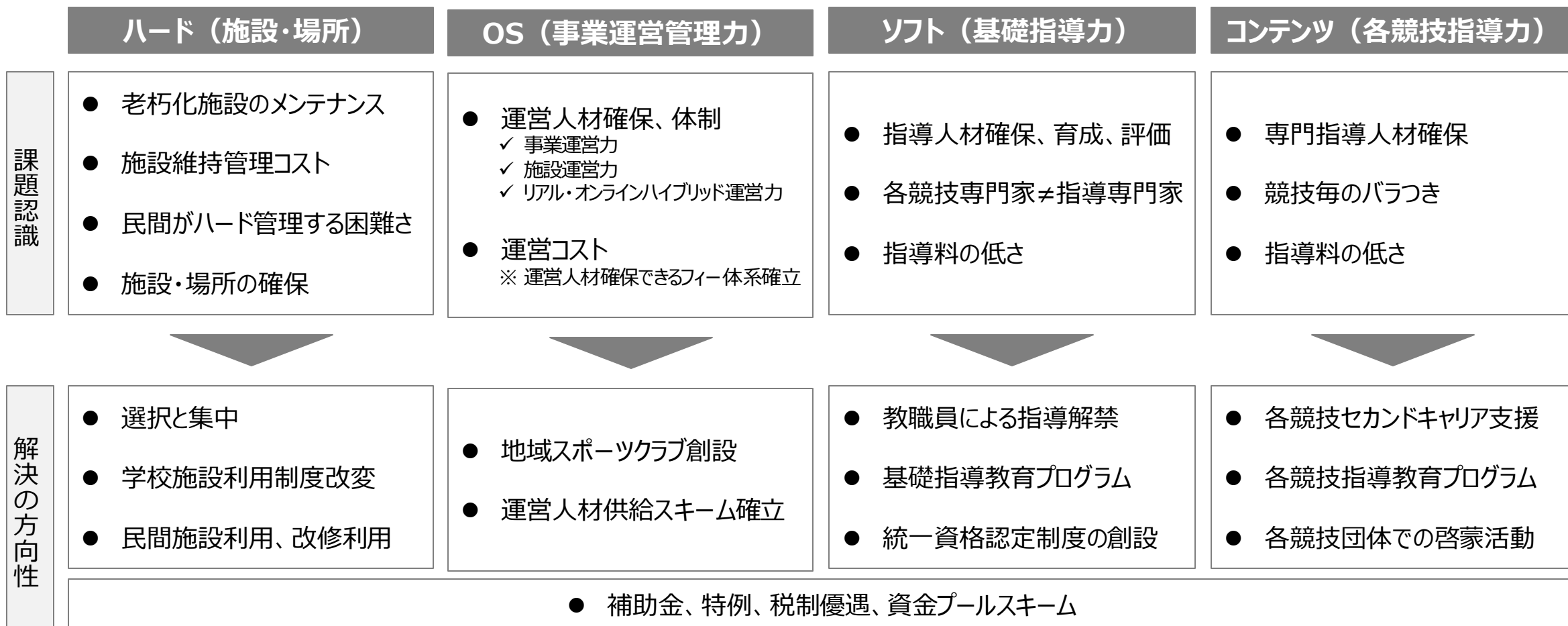
地域スポーツの維持発展には、4層構造に分けて検討していく必要があるものと思料。



地域スポーツクラブ事業化検討にあたっての課題認識及び解決の方向性

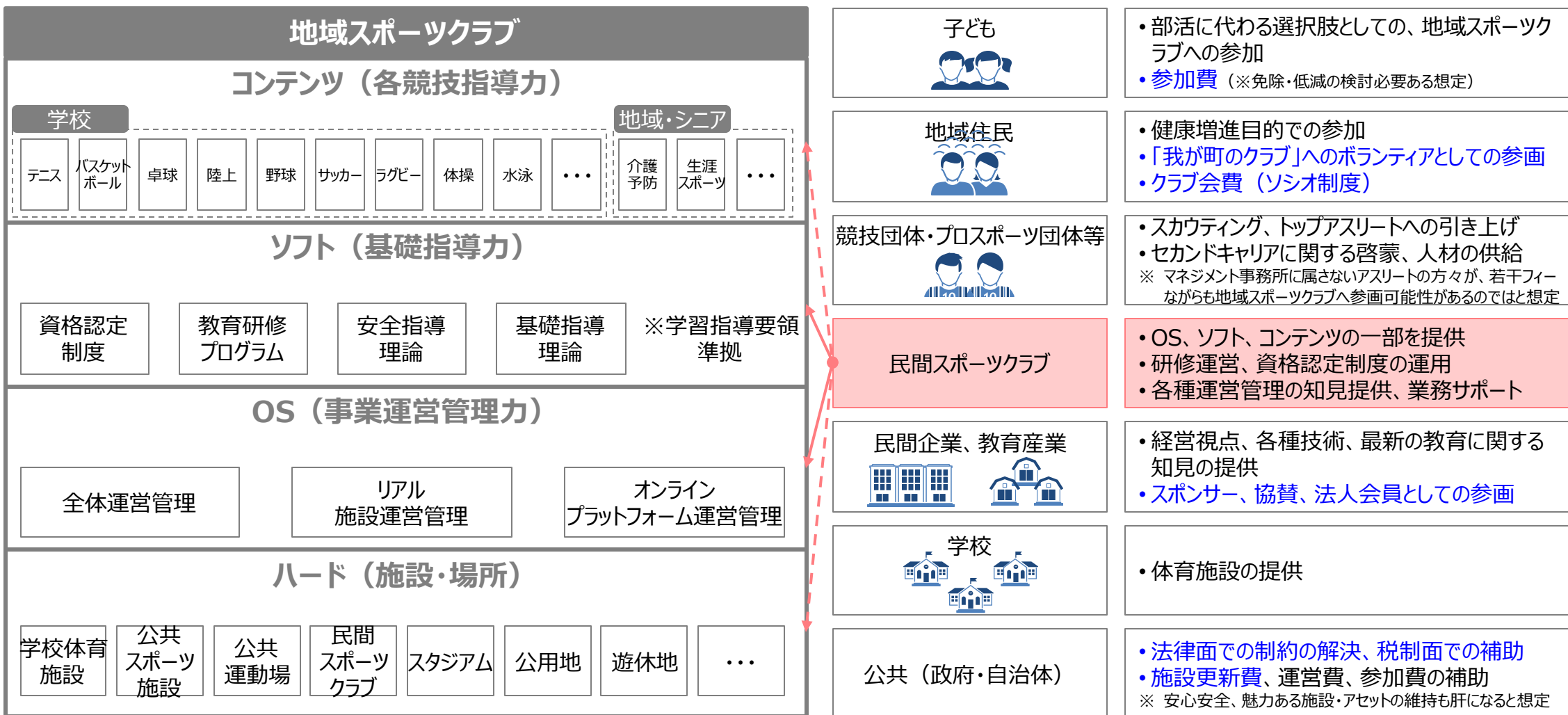
民間スポーツクラブは、①会費と②利用費の収入で運営している。

地域スポーツクラブ事業に参入する場合、①②を参加者から徴収は困難と想定され、参加者の負担軽減が肝になる。



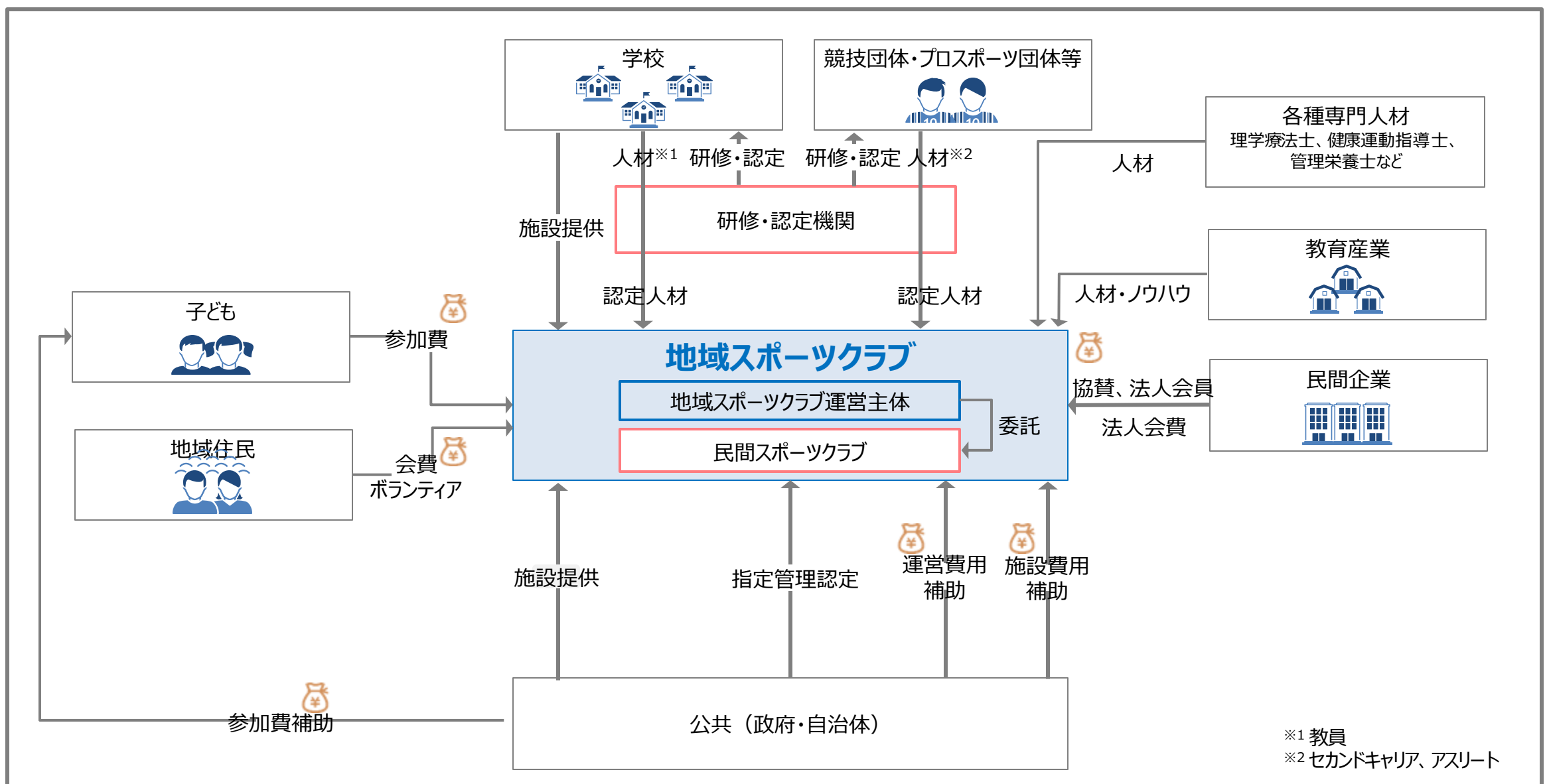
各プレイヤーの役割整理 (案)

地域スポーツクラブ運営において、各プレイヤーの特性を踏まえると以下のような役割を担うことが必要と考えられる。



※青字：当初受領資料記載内容に追加

地域スポーツクラブ事業化全体スキーム（案）



以上